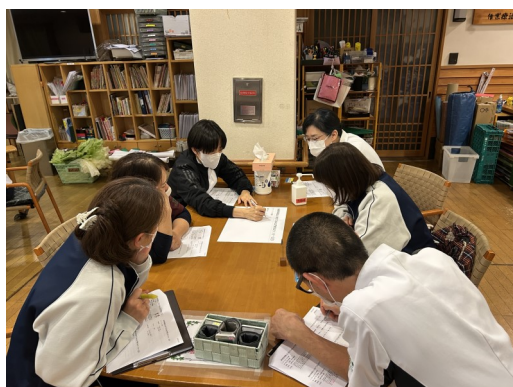


令和7年度 内部研修会 No.7 施設の取り組み 報告

～スキルアップセミナー・法定研修～ 『身体拘束について』 ～身体拘束ゼロを目指した取り組みを考えよう～

令和7年10月28日に施設内研修として、「身体拘束適正化」に関する研修を実施いたしました。



今回の研修では、身体拘束の定義や、どのような対応が身体拘束に該当するのかを改めて確認しました。また、やむを得ず身体拘束を行う場合の切迫性・非代替性・一時性の3つの観点から判断する必要があることや、その手順についても学び、職員一人ひとりが理解を深める機会となりました。

グループワークでは、具体的な事例をもとに、身体拘束が必要とされる場面について意見交換を行いました。身体拘束を行わずに安全を確保する方法や、現場での対応を見直すきっかけにもなりました。参加者からは、「安全確保のための対応が、かえって利用者様の気持ちや本当に望んでいることに気づきにくくなる恐れがある」との声もあり、“安全”と“尊厳”の両立の難しさを改めて認識する場となりました。



今後も身体拘束を最小限にとどめるための対策を継続的に見直し、利用者様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

医療法人社団 青山会
復井診療所 介護老人保健施設オパール



令和7年10月31日
研修企画委員会